

## モニター調査結果（中間まとめ）について

### 1. 目的

記述式問題の導入に向けて、記述式問題の効果やモニター生の解答状況等について検証するため、モニター調査を実施する。

### 2. 対象教科

国語、数学（様々なパターンの記述式問題を出題）

【国語】12の大問を出題（80字超の問題を含む23題の記述式問題（最大220字）を出題）。

実用的な文章（公文書、契約書）、統計資料、評論文（自然科学分野）、会話文及びそれらの組合せなど、従来の大学入試センター試験にはないパターンの素材を選定。

【数学】16の大問を出題（短文式を含む34題の記述式問題を出題）。

3. 日 時 平成28年11月27日（日） 午前10時～

4. 場 所 中央大学後楽園キャンパス

5. 日 程 別添1のとおり

### 6. モニター生

大学1年生（幅広い学力層から構成） 393名

国語は2グループ（1グループ200名程度）

数学は3グループ（1グループ130名程度）

### 7. 採点者

「記述式問題採点業務に関する技術アドバイザリー業務」の委託を受けた民間事業者（国語2社、数学2社）が、大学入試センターが作成した採点基準に基づいて採点

### 8. 主な検証内容

- 記述式問題の効果、条件設定、採点基準
- 正答率と段階別評価の在り方
- 記述式問題解答に適切な試験時間、自己採点

### 9. 今後の検討

11月に実施した結果を踏まえ、平成29年2月に第2回モニター調査を実施予定である。本調査では、対象となる記述式問題を厳選し、モデル問題公表に向けた更なる検証を行う。

さらに、記述式問題とマークシート式問題からなる「試験問題1セット」を実施することにより、試験本番により近づけた検証を行う。

\* 別添 1 は、モニター調査に関する機微情報のため非開示